

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 蔵子屋 Coccora		職員数/回 答者数 9名/9名		公表日 令和7年 3月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%				・小学生や中学生が利用する時には、スペース的に適切ではないことがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	・トイレは大人用に便座のため、踏み台を置く等対応をしている。	・トイレが段差になっていることを見学に来られた方には説明をしている。 ・室内での野球やボール遊びの時は適切ではないと感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	78%	22%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	89%				・よくわからないが、PDCAサイクルの意識はないと感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・評価表の他に保護者との連絡からの要望や意見等に対して、職員全員で把握し、統一した支援の提供を心掛けている。 ・年1回(3月)に評価表の公表をしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%			・はっきり分らないが、退職する職員が多い。職員を育てるということも必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	89%	11%	・実際に見ていただく機会をつくりたい。 ・年2回第三者委員会を開催し、事業報告を行っている。	・外部評価は見していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・月1回研修を行っている。また、必要に応じて外部研修を行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	89%	11%	・見ないことがある。	・支援プログラムについては現在、事業所全体で見直し、4月の公表に向けて作成中。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・個別支援計画更新の際、保護者と面談の機会を作って頂き、直接子どもの姿について話し、理解を深めている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・共通理解は今後も大切にしてほしい。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	89%	11%		・標準化されたツールを取り入れていない為、今後は検討が必要である。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			・支援会議や日々の子どもの様子の伝え合いを朝礼で行い、その姿から発達支援の課題を捉え目標設定をしている。 一方で、地域支援の取り組み方が難しいと感じる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	89%	11%		・担当職員を主に日々の様子など考慮し、チームで話し合う必要がある。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	89%	11%		・活動が固定になりつつある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%			・集団活動には、無理なく参加できるように子どもの様子に合わせて参加の仕方を検討している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			・その日の活動について朝礼で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	89%	11%	・終了時打ち合わせが行えない時は、次の日の朝礼で行っている。 ・事後ではあるが、必要なことは知らせてもらっている。	・朝礼で振り返りを行っているが、もう一歩踏み込んだ反省や振り返りが必要と感じる。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			・一人ひとりのケア記録にて、利用した際の様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			・6ヶ月に1度、モニタリングを行っている。また、必要に応じて面談の機会を作っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			・児童発達支援管理責任者が参加し、伝達研修を受けている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	56%	33%		・幼稚園や幼児教室との情報共有を増やしていきたい。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	56%	33%		・今後移行する児童がいた際は、必要に応じて行う。	・今年度が初めての対象児童である。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					・児童発達支援管理責任者が参加している。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	89%	11%		・今年度初めて、子育て支援センターの職員と情報交換の機会を設けて頂いた。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	44%	56%		・希望があれば計画・立案していく。	・他の施設のおこさんとかかわりは現在ない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			・利用時の様子をHUGや迎えの時にお伝えし、定期的にモニタリングを行っている。 ・必要に応じて面談を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	56%	44%		・要望があれば応えていく。	・ペアトレ等の支援は現在行っていない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			・契約時にお伝えしている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%					

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		・契約時に説明を行うほかに、支援計画更新の時に説明をし、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・今年度は、就学先を決める際に面談の機会を作って頂き、お話を伺った。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	33%	67%	・今後は行いたい。 ・保護者会は開催していないが、年1回おまつり会を通して、保護者の方々を招待し、気軽にお話できる環境を作っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・HUGシステムを導入している。保護者にもアプリを入れてもらい、連絡事項をいつでも確認できるようにしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	67%	33%	・地域住民との交流として、ハロウィンの際に近隣のお菓子屋をめぐるイベントを行った。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	78%	22%	・子どもたちと一緒に訓練の他に、職員のみを対象とした非常災害訓練や感染症の訓練を行った。	・ご家族への周知が不十分である為、伝え方を工夫する必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	78%	22%	・対象児童がいない。 ・契約時の聞き取りの時に詳しく確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	89%	11%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	89%	11%		・ヒヤリハットの事例報告。共有は朝礼の中で行われているが、記録に残すことが不十分である。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・2か月に1回虐待防止チェックシートの記入をし、支援の振り返りを行っている。また、研修の中でどのような関わりが虐待につながるのか確認している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・身体拘束については、現時点で行わないことを確認している。		